



【奈良県初】指定ごみ袋をレジ袋に活用します

生駒市内のスーパーヤオヒコ北大和店（株式会社八百彦商店 本社：奈良県北葛城郡王寺町）で、令和5年1月5日（木）から、買い物をした際に客が購入するレジ袋の代用として、生駒市指定の家庭系ごみ袋（7ℓ・15ℓ）を1枚単位でバラ売りする取り組みを始めます。商品を持ち帰った後は、ごみ袋として家庭系ごみの排出に再利用してもらう、奈良県内初の取り組みです。



当市では、先駆的な取組として、平成25年10月に「マイバッグ等の持参促進及びレジ袋有料化に関する協定」を市内の全てのスーパーマーケットと締結し、平成26年6月からレジ袋の有料化を実施しました。これらの取り組みの結果、市民にレジ袋削減の意識が深まり、家庭から排出された燃えるごみ量に占めるレジ袋の割合は、有料化前の1.6%から、0.9%に減少しています（当市で実施した燃えるごみ組成調査の結果より）。

今後も、本施策に賛同してもらえる指定ごみ袋販売店を拡大するとともに、プラスチックごみ削減の取り組みを推進します。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

環境保全課（黒松） ☎0743-74-1111(内線 2350)